

クイズのこたえ

三津濱迷路・かくし絵は、
明治時代の三津濱を舞台にしているよ。

めいろ 迷路・かくし絵の時代

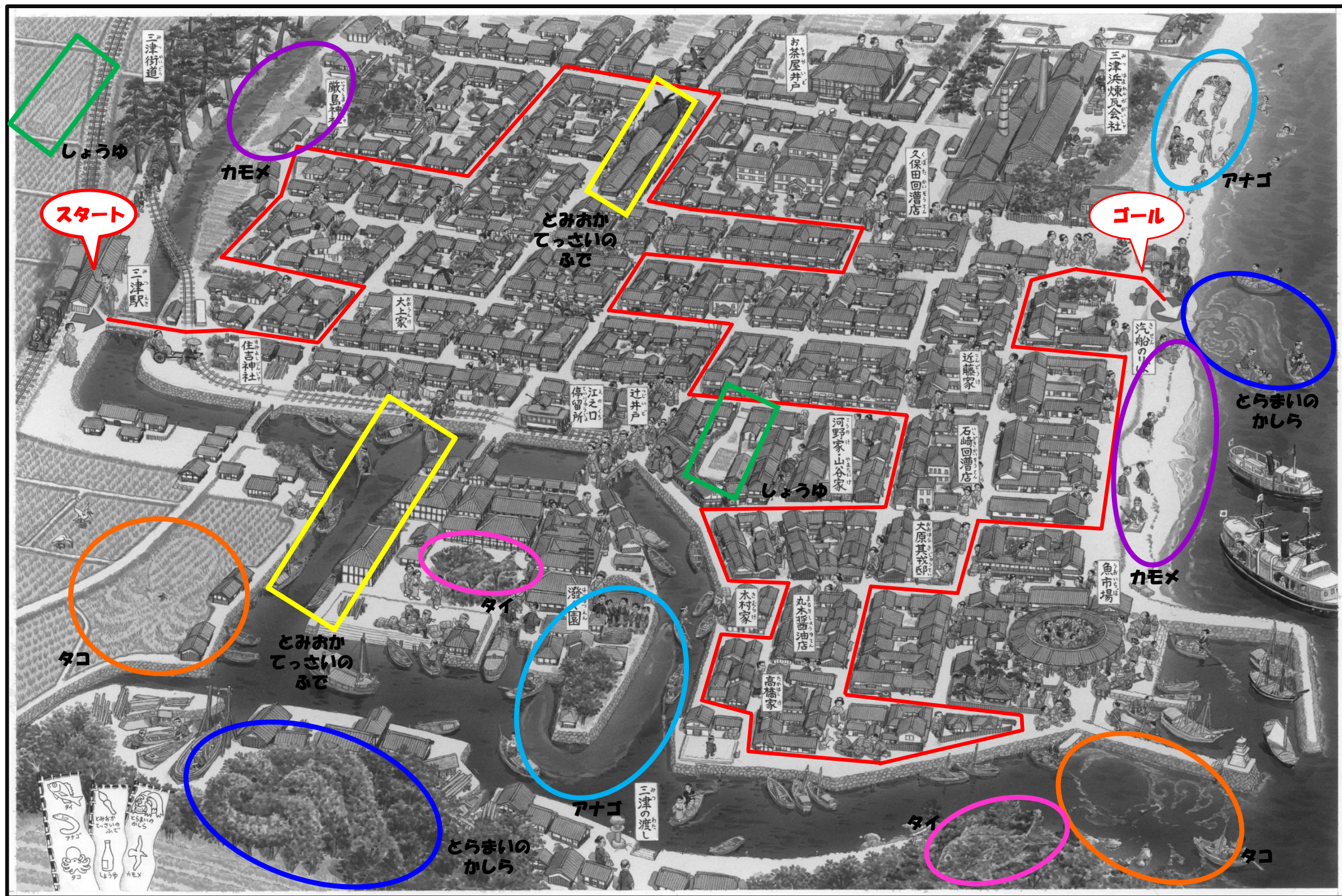
三津濱は、古くから松山の海の玄関口として知られ、おおくの人や“もの”が行き交い、さまざまな文化が栄えました。秋山好古さんや真之さん、子規さんが主人公の小説『坂の上の雲』のなかにも、明治時代の三津濱のようすが描かれています。

明治のはじめころは、おおきな船を横づけできる棧橋がなかったため、人びとは汽船のりばから“伝馬船”というちいさな船に乗り、海のうえで“汽船”というおおきな船に乗りこみました。秋山兄弟や子規さんがはじめて松山を旅立つときも、伝馬船を利用しています。明治のなかごろには棧橋がつくられ、人びとは陸から棧橋をとって直接おおきな船に乗りこむことができるようになりました。船を待つ人びとや船員さんたちは、回漕店で食事や休憩をとり、宿泊もしました。

三津濱と松山市内の行き来は、明治のなかごろまで徒歩か人力車でしたが、明治21年には鉄道が開通し、とても便利になりました。

明治・大正を代表する画家として有名な富岡鉄斎さんは、明治はじめごろに三津濱を訪れ、とてもにぎわっていた魚市のようなようすを絵に描いています。

さあ、好古さん・真之さん・子規さん・漱石さんが過ごした明治時代の三津濱にタイムスリップ!!



「坂の上の雲」の登場人物を探せ!!



好古さんを探せ!

1875 (明治8) 年、好古さんは大阪で学校の先生になるために三津濱を旅立ったよ。両親や弟の真之さんに見送られながら、汽船のりばに

むかっている好古さんの姿を探そう!



子規さんを探せ!

1889 (明治22) 年、東京の学校に通っている子規さんが夏休みに帰ってきたよ。1年前に三津濱と松山市内を結ぶ鉄道ができたんだけど、子規さんはこのとき人力車を利用したんだ。

どこにいるかな?



真之さんを探せ!

1890 (明治23) 年の正月、真之さんと子規さんは、数人の友だちと一緒に三津濱で新年会を開いたよ。お店の名前は「濑々園」だよ。

真之さんたちの姿を探そう!



漱石さんを探せ!

1895 (明治28) 年、漱石さんが先生として松山にやってきたよ! 漱石さんはマッチ箱のような汽車をみて、驚いたそうだよ。

どこにいるかな?

